

広報うさが県広報コンクール3部門で入選!うち1作品が全国へ!

広報うさが令和4年度大分県広報コンクールの3部門で入選し、うち1作品が全国広報コンクールへ推薦されました。今後も読みやすく親しみやすい広報活動を目指します。
問合せ / 秘書広報課 広報広聴係 (☎ 27-8106)



入選 広報紙の部

全国
推薦

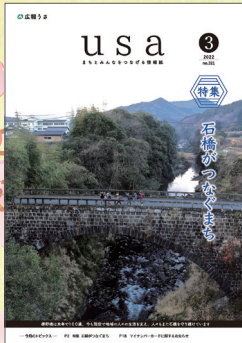


令和4年8月号

◎審査員の評価

ポスターのような目をひく表紙で、文字の配置も効果的。丁寧に構成されて読みやすく、大人も子どもも興味を持てる内容。

入選 広報写真の部 (1枚写真)



令和4年3月号 表紙

◎審査員の評価

石橋が風景に溶け込み生活に根付いている感じが伝わってきた。時間帯や色味も良く、少し引いた広い構図も良かった。

入選 広報写真の部 (組み写真)



令和4年11月号 2ページ

◎審査員の評価

消防の活躍をさまざまな場面で捉え、構図にドラマが感じられ良かった。車両の写真もかわいい。子どもが喜びのもの納得。

うさのきらびと

にゅうがく あきとし 入学 昭敏さん

長洲青少年剣道クラブを創設し、県・市剣連で役員を務めるなど長年にわたり剣道の発展、普及に尽力された入学さん。その功績が称えられ、全日本剣道連盟の有功賞を受賞した入学さんにお話を伺いました。

気づいたら好きになっていた剣道
中学1年の時、いとこの影響を受けて剣道を始めました。終戦後、禁止されていた学校剣道ができるようになって間もない頃でした。進学、就職を経て少しずつ剣道を続け、32歳の時、亡くなった師匠の遺志を継ぎたいと、当時の仲間と声をかけて子どもたちの稽古を始めました。剣道一筋65年、身に余る賞をいただき、教え子がお祝いとして大会を開いてくれました。彼らの成長を目的の当たりにし、感動しました。

これからも楽しい稽古を
剣道が続けて来られたのは、職場や家族の理解があったからで、家族には本当に感謝しています。剣道は、世代を問わず一緒に汗を流すことができます。若い時は力とスピード、年を取れば動じない心、引退はありません。自分が見本となるように、剣道を楽しんで終身続けていきたいです。



「誠心」
目標は生涯剣道

